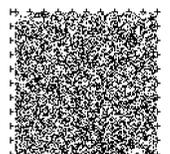


第5次 港区地域福祉活動計画

令和4年度(2022年度)～令和9年度(2027年度)

気づき、つながり・支えあう



計画の全体像

地域福祉 の課題

1

生きづらさや課題を抱える人が、
地域の中で活動や支援に
つながる仕組みづくり

支援を必要とする人が声を上げることができる仕組みや、周りが発見する仕組みづくりが必要です。また、地域の中にある様々な課題を誰にでも起こり得ることとして捉え、理解しようとする態度が、専門職にも地域住民にも重要です。

こうしたことから、制度と地域住民の活動をつなぎながら、生きづらさや課題を抱える人が活動や支援につながる仕組みづくりに取り組む必要があります。

2

地域の状況や特性にあわせた
多様なつながりの構築

身近な地域に関心を持ち、つながりづくりの重要性を理解する区民等を地域で増やしていく取組や、多くの人が自分にとっても参加しやすい場へとつながっていくこと、多角度からつながりが促進される方法を考えていくことが求められます。

こうしたことから、地域福祉活動者とコミュニティソーシャルワーカー等でさらに工夫して、多様なつながりの構築に取り組む必要があります。

3

多様な主体による
地域活動の促進

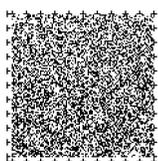
地域の活動に誰もが気軽に参加できる仕組みをつくり、多くの人たちが活動につながる必要があります。また、活動を継続したり、様々な世代が活動に関わったりするための支援が求められます。多様な主体同士の間につながりや連携のための取組を促進し、様々な分野の活動が発展していくことが重要です。

こうしたことから、さらなる工夫や支援体制の構築により、多様な主体による地域活動促進に取り組む必要があります。

基本理念

気づき、つながり・支えあうことを 育むまち

人と人、人と地域が普段からつながりをもつことで、身近な地域に住む人が課題を抱えることに気づき、地域で課題を発見すること、お互いに支えあう意識や活動が広がることが大切であると考え、本計画ではそれらを発展させるために基本理念としました。



港区地域福祉活動計画とは？

区民や地域の多様な活動団体等が連携・協働して主体的に地域福祉活動を推進するための計画です。地域福祉活動を通じた様々な地域の生活課題の解決に向けて、区民等と港区社会福祉協議会（港社協）が連携しながら取り組みます。



基本方針

- 1 -

認めあい暮らす

お互いが認めあい、誰もが自分らしく暮らすことができる

▶ p.4

- 2 -

支えあいを広げる

多様なつながりや支えあいの取組が広がっている

▶ p.5

- 3 -

活動をつなげる

活動に参加しやすく、連携が進んでいる

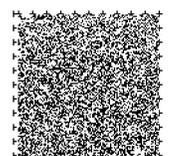
▶ p.6



めざす
地域の姿

多様なつながりと支えあいがあり、 誰もが自分らしく安心して暮らせる地域

多様なつながりや支えあいが地域にあり、それを日常的に感じられ、自分にあった場や仕組み、支援とつながることができ、さらに地域に活動の輪が広がるなど、誰もが安心して暮らせる地域をめざします。



基本方針 1

認めあい暮らす

～お互いが認めあい、誰もが自分らしく暮らすことができる～

様々な生活や価値観があることをお互いに認めあい、一つひとつの生活課題を地域のこととして考える人が増えることで、誰もが暮らしやすくなるための包括的な支えあいの仕組みや様々な支援・制度につながりやすくなるよう取り組みます。

活動目標 1

生きづらさや課題に気づき、受けとめ、 地域で支える体制ができる

区民の取組例

悩みや困りごとを抱え、
生きづらさを感じている人が
地域にいることを理解します。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- ひきこもりについて学ぶ機会をつくり、交流や相談の場づくりを支援することで、様々な生きづらさを理解・共有できるための取組を行います。
- 講座や学習会を通して、地域で困った時にSOSを発信できる人や困っている人に気づくことができる人を地域に増やす取組を行います。
- 相談対応を強化します。

活動目標 2

誰もが自分らしく過ごせる場がある

地域で活動している人・団体の取組例

困りごとや悩みを抱えている人、
孤立しがちな人や課題を抱えている
人でも気軽に参加しやすい場を
つくります。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 地域の様々な居場所や集まりについて情報発信等を強化し、区民が地域の中で心のよりどころとなる場とつながるための支援を進めます。
- 様々な地域活動を通して多くの人が過ごせる“場”として、港社協の拠点の機能を強化します。

活動目標 3

生きづらさや課題を抱えていても自分らしく暮らせる

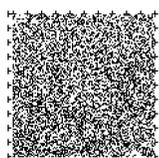
特定の目的をもって活動している人・ 団体の取組例

自分たちの活動を通して、
困りごとや課題を抱える人の
手助けになる取組を考えます。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 既存の制度につながらない・つながっていない人が相談しやすい環境や機会を創出します。
- 制度の狭間にあり困窮する区民のニーズを捉え、支援するための新たな取組の検討を進めます。



支えあいを広げる

～多様なつながりや支えあいの取組が広がっている～

つながりや支えあいの気持ちや意識をもつ人が増えることで、区民による主体的な活動が進み、支える人と支えられる人、担い手と受け手という関係を超えた支えあいの取組を地域に広げます。

活動目標

1

地域を知る機会があり、 地域に関心をもち考える人が増える

地域で活動している人・団体の取組例

活動を通して、身近な地域について周りの人と一緒に考える機会をもちます。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 地域の情報を得ることができるシステムを強化し、区民が必要とする様々な社会資源を気軽に知り、つながることができる取組を進めます。

活動目標

2

交流し、つながりをもつことができる場が 地域に増える

特定の目的をもって活動している人・ 団体の取組例

強みや得意な分野を通して、地域での交流やつながりの場に関わることで、場の活動が活性化したり広がったりする手助けをします。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 活動を始めるきっかけづくりや、その後の交流やフォローアップなど、区民等がつながりづくりの活動への関心や意欲をさらにもつための取組を行います。

活動目標

3

どのようなときもつながりや支えあい がとぎれないための取組が進む

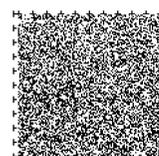
区民の取組例

災害時や緊急時などいざというときのことを意識して、身近な地域の人と顔の見える関係をつくります。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 災害時や緊急時を想定した、普段からのつながりの必要性を学び考えるための取組を推進します。



基本方針 3

活動をつなげる

～活動に参加しやすく、連携が進んでいる～

今まで地域の活動に関心がなかった人や関わる機会がなかった人が参加するきっかけをもつことや、活動している人同士がつながることを進め、地域全体で様々な活動を発展させることで、地域課題の解決につながる可能性を広げます。

活動目標

1

活動のきっかけがあり、参加する人や団体等が増える

区民の取組例

講座や体験、すでに活動している人との交流など、始めやすいことから取り組みます。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 希望する活動や関心がある活動を検索しやすくするために情報発信を強化します。
- 様々な世代や国籍の人などが地域福祉活動について知ることができるための情報発信に取り組みます。

活動目標

2

活動が生まれ、継続し、次世代につながる

地域で活動している人・団体の取組例

一緒に活動する人を増やすために、ボランティア情報紙に記事を掲載したり、情報を発信できるイベントに参加してみたりします。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 様々な意欲のある人・団体が交流してつながるための場をつくり、活動の継続や発展を支援するための取組を行います。

活動目標

3

地域で多様な主体がつながり、連携できる

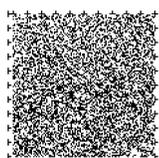
特定の目的をもって活動している人・団体の取組例

強みや得意分野を活かしてできることを、情報交換の場やネットワークの中で発信したり、港社協に相談したりするなどして、地域の活動団体とつながり、活動の機会や幅を広げます。



社協の取組（新規の内容が含まれているもの）

- 様々な主体が情報交換や連携のできる場づくりを強化し、活動の発展のための支援を進めます。
- より幅広い主体が連携できるための仕組みづくりと、地域課題解決のための連携した取組を進めます。



「理解すること」が、「支えること」につながる

社会問題の一つであるひきこもりは、「ひきこもること」ではなく本人やその家族が「孤立すること」が問題だといわれています。本人だけでなく、次第に家族も社会との接点をもてなくなり、解決が長引いてしまうことがあります。



本人や家族同士が思いを話しあえる場の必要性や、本人の特性にあった生き方を見つけていくという理解が社会に広がりつつあり、ひきこもりの課題を抱える人の安心感や前向きな気持ちにつながっています。

地域のつながりをつくることも大切です。生きづらさや課題に気づき、正しく理解する。困ったときに「助けて」と発信しやすい環境がある。このことが、ひきこもりをはじめとした課題をもつ同じ地域に住む人が「幸せに暮らすことを支えること」につながるのではないのでしょうか。

工夫でつながり続ける！

身近な地域でのつながりの大切さを、コロナ禍において再認識した方も多いと思います。

そのような中、つながりがとぎれないための様々な工夫をしている町会や活動団体が増えています。例えば、手紙や電話などで交流を重ねたり、スマートフォンやパソコンをテレビ電話として使ってオンラインでサロン活動をしたり、ソーシャルディスタンスを守ってウォーキングしたりするなど、工夫した様々な活動が広がっています。



お手紙などでつながり続けるサロンも！

日頃から交流やつながりがある地域は、災害時や緊急時など急に環境が変化する中でも、つながりや支えあいが続くことが期待できます。「いつものつながり」がある地域が増えていくように、皆さんと一緒に取り組んでいきます。

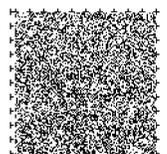
港区がいきいきと活気ある地域であり続けるように

地域福祉活動団体等アンケート調査では、「活動を中心的に支えるメンバーやリーダー（後継者）を育てたい」「活動に参加してくれる人を増やしたい」という回答がそれぞれ4割半ばとなっており、地域で活動を続けていきたいという思いが伝わってきます。



港社協では、地域で活動したい人や、新たな仲間を迎えたい団体、そして人や団体との連携を通じた新たな活動に取り組みたい団体など、様々な思いをもった人が集う交流の場やつながりづくりに取り組んでいきます。

皆さんの思いをつないで、活気ある活動が続く地域にしていましましょう。きっと、様々な地域活動団体等の活動が、これからの地域の課題解決にも寄与していくはずです。



●● 本計画と特に関係の深いSDGsの目標(ゴール)(国際目標) ●●

国際社会の共通目標であるSDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会は、地域共生社会の実現につながるものです。本計画もこの理念に基づき、特に関係の深い9つの目標を踏まえて計画を推進します。

アイコン	ゴールの名称等	アイコン	ゴールの名称等
	1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。		10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する。
	3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。		11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な人間居住を実現する。
	4 質の高い教育をみんなに すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。		16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
	5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。		17 パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。
	8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。		

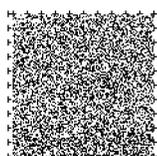
出典：外務省ホームページ「JAPAN SDGs Action Platform」

●● 港区社会福祉協議会(港社協)とは ●●

社会福祉法第109条に基づき設置した社会福祉法人で、地域福祉の推進を図ることを目的とする非営利の民間団体です。

住民や民生委員・児童委員、町会・自治会、社会福祉関係団体や行政等の関係機関と連携して地域福祉を推進します。

住民の誰もが安心して暮らせるように、社会福祉関係者や関係機関、住民が協力しながら地域生活課題の解決に取り組んでいます。



第5次港区地域福祉活動計画 概要版

令和4年度(2022年度)～令和9年度(2027年度)

令和4年(2022年)3月

発行：社会福祉法人 港区社会福祉協議会

〒106-0032 東京都港区六本木5-16-45 港区麻布地区総合支所2階

T E L : 03-6230-0280 FAX : 03-6230-0285

E-mail : info@minato-cosw.net